

個性と能力を発揮し、誰もが輝くために
知っておきたいキーワード……………③

【LGBT(Q)=エルジービーティー(キュー)】

性を構成する要素はさまざま
多様な性のありよう、それぞれを尊重しよう

男はこう、女はこうと二つに分けて考えられがちですが、性は、そのように単純なものではありません。下の図を見てください。「性的特徴」だけでなく、自分がどの性別かという「性自認」、恋愛感情や性的な関心の対象がどの性別に向くかの「性的指向」、服装やしぐさ、言葉づかいといった「ジェンダー表現」など、性を構成する要素はさまざまで、その

あり方も多様です。

「LGBT」や「LGBTQ」は、右ページの表に示した、さまざまな性のありようの中の一部の言葉の頭文字を取って使われている表現です。

性のありようはさまざまであり、自分とは異なるありようもあることを知りましょう。そして、そのそれぞれが尊重されることが大切です。

性を構成する要素

性的指向

恋愛感情や性的関心の対象がどの性別に向くか

ジェンダー表現

服装、しぐさ、言葉づかいなどで性別に関し、なされる表現

性自認

「男性である」「女性である」「男性と女性のどちらでもある」「どちらでもない」などといった、性別の自己認識・アイデンティティ

性的特徴

性器、染色体、ホルモンなど性に関する身体的特徴

さまざまな性のありよう

性的指向 (恋愛感情や性的関心の対象がどの性別に向いているか)				
L	G	B	H	A
レズビアン 性自認が女性で、性的指向が女性に向く人	ゲイ 性自認が男性で、性的指向が男性に向く人	バイセクシュアル 異性を好きになることもあれば同性を好きになることもある、性的指向が同性・異性どちらにも向くことがある人	ヘテロセクシュアル 自分とは異なる性別の人に性的指向が向く人	Aセクシュアル(アセクシュアル) 恋愛感情や性的関心を他者に対して抱かない人
性自認(自分がどの性別か)				性自認
ジェンダー表現(服装、しぐさ、言葉づかいなど)				性的指向
T	X	C	Q	
トランスジェンダー 出生時に割り当てられた性別とは異なる性を生きる人、生きることを望む人(トランスジェンダーの定義には幅がある)。性同一性障害者を含む	Xジェンダー(エックスジェンダー) 男性・女性に二分できない性自認を持つトランスジェンダー	シスジェンダー 出生時に割り当てられた性別を生きる人	クエスチョニング 性自認や性的指向が明確ではない人、決めかねている人、決めていない人	

ともに生きていることに目を向けよう！

「自分の周りにLGBTの人はいない」と思っていませんか？ いないことにされている社会だから言えない、だから気付かないのかもしれませんが。誰もが多様な性を生きていて、どのあり方も大切です。多様な性のあり方を認め合い、誰もが自分らしく生きていける社会をつくっていきましょう。

